

別記様式第1号（第4条関係）

木津川市子ども・子育て会議 開催結果要旨

会 議 名	令和5年度第3回木津川市子ども・子育て会議		
日 時	令和6年3月21日（木） 午後2時～午後3時30分	場 所	木津川市役所 第2北別館2階会議室
出 席 者	委 員	17人	
	その他出席者	なし	傍聴人の数 0人
	庶 務	こども宝課	■公開 □非公開 □一部非公開
議 題	1 開会 2 会長あいさつ 3 議事 （1）第3期子ども・子育て支援事業計画にかかるニーズ調査について【資料1】 （2）令和6年度保育施設申請状況（報告）【資料2】 （3）あそびでつながる『PLAYFUL PARK』（報告）【資料3】 （4）高の原幼稚園交流事業について【資料4】 （5）令和6年4月1日木津川市組織改正について（こども関係）【資料5】 （6）その他【追加資料】麻しんの増加に係る注意喚起通知 等 4 閉会		
会議結果要旨	1 開会 司会進行により開会。事務局より会議成立要件定足数の報告。（市長あいさつは割愛） 2 会長あいさつ 安藤会長より、本日の会議録の署名委員について、会長のほか兎谷委員を会長から指名された。 3 議事 （1）第3期子ども・子育て支援事業計画にかかるニーズ調査について、資料1に基づき説明。 （2）令和6年度保育施設申請状況について、資料2に基づき報告。 （3）あそびでつながる『PLAYFUL PARK』について、資料3に基づき報告。 （4）高の原幼稚園交流事業について、資料4に基づき説明。 （5）令和6年4月1日木津川市組織改正について（こども関係）、資		

	料5に基づき報告。 (6) その他 ・麻しんの国内外での増加に伴う注意喚起について、追加資料に基づき説明。 ・全国で発生している給食での窒息事故その他報道関連について説明。 4 閉会
会議経過要旨	1 開会 事務局より、司会進行・開会。市長あいさつ及び新しい委員を含めた紹介は、時間の関係上割愛させていただき旨のお詫びと、会議成立要件定足数の報告。 子ども・子育て会議は、地方自治法、木津川市子ども・子育て会議条例を設置根拠として設置される市の附属機関である旨等説明。 2 会長あいさつ 本日は年度末のお忙しい中足をお運びいただき有難く思う。より一層慎重に審議したいと思うので、お力添えをいただき忌憚のないご意見を賜りますようお願いしたい。 本日の会議録の署名委員については、兎谷委員を指名する。 3 議事 主な意見・質疑等はつぎのとおり (○：質疑・意見 ⇒：質疑に対する返答) (1) 第3期子ども・子育て支援事業計画にかかるニーズ調査について 〈資料1〉に基づいて説明。 ・就学前児童・小学生児童の保護者に対して行った。回収率は41%、(前回46%)で両アンケートを通して1,650票の回収、対象となる母数が約10,000人であり、統計的に誤差の範囲と考えている。 ○特徴的な結果内容について前回との比較をしながら紹介。 ・子育てを主に行っている者は、「父母共に行っている」が10%増、「主に母親」が10%減となっており、フルタイムの共働きが多くなっている。 ・母親の就労率が17%増。育児休業の取得は母が11%増、父が9%増であった。父の取得期間は「10日以内」が62.1% (前回34%)、1か月以上が52.3% (前回24%) であった。 ・平日の教育・保育施設の利用状況は前回より10%増で、休日の利用

希望も24%であった。

- ・病児・病後児保育の利用希望は27%の利用希望がある一方で、58%は利用したいと思わないと回答された。父母が休める、病気の時に他人に任せるのは抵抗がある、利用料が高いといった理由が多かった。

- ・子育て支援事業の利用状況は、育児休業中の0歳児の利用が多い。

- ・子育てに関する相談先について、「相談できる人や場所がある」と回答したのが前回から11%減となった。人付き合いが苦手だったり、誰に相談すればよいかわからないケースがあり、これらは0～2歳児で特に多いが、3歳児以降は施設を利用されているため園で相談される傾向にある。

- ・小学校教育の満足度について、「ギガスクール構想」でICTの充実により前回から上がっている。国際理解協力が前回同様低い。

- ・放課後児童クラブは1～3年の利用が多く、放課後児童クラブ内で習い事のようなメニューをして欲しいとの希望があった

- ・生活困難についての設問では、結果は前回から大きく変わっていないが、生活困難層の傾向として子育てに対して不安な気持ちを感じている傾向がある。主にこどもの教育や将来の教育費等で悩んでいる結果となった。

母の就労率が上がり、育休や短時間勤務が増え働き方の見直しがされた。その背景には、教育・保育の無償化で社会進出が進むのと同時に、将来の教育費の不安や子育てにかかる経済的負担により共働きをせざるを得ない状況となっている。今後、保育サービスや人口動態の推移を見ながら計画策定を進めていく。

【質問・意見】

○就学前のアンケート調査17、18ページで、病児・病後児保育や一時預かり事業のニーズは高いが利用料が高い理由で利用されていないことが見られるが、現状の価格設定について今後検討される予定はあるか？

⇒アンケート調査を基に、来年度以降提供量や内容の充実をどうしていくかを踏まえながら、利用料や今の経済状況で賃金がどこまで上がっていくのか傾向も見つつ、バランスを見ながら計画の中で示していきたい。

○就学前のアンケート調査44ページで、未就学児童の状況でもそうだったが、子育て支援事業の認知状況、利用状況について、「無回答」が異常に高い。認知されると利用率も高くなると思うが、どういう現状を反映してこういう数字になっているのか。現状がニーズにあってな

いことがこの数字に反映されている気がする。この回答率の結果を分析するともう少し回答できるアンケートになったのではと思う。

⇒このアンケート結果から施設利用の回答をみると施設利用が80%、不定期に施設利用する方が20%ある。このアンケートから見ないといけないことは、その限られた20%のニーズがどういう層でどういう属性なのか、その特定のニーズにどう答えていくかである。それを計画の中で盛り込まなければいけない。ニーズが全体の中で少ないというより、特定のニーズに対しどういう方が必要としているか傾向がつかめれば、そこにどのようなサービスを提供していけるか捉えられと思っている。特に一時預かり事業は、知った上でその半数が利用しているので、そういう傾向が掴めたら、もっと周知していかないといけない等アンケートから見られる傾向で来年度以降どういう対策をしていくかを考えたい。

(2) 令和6年度保育施設申請状況(報告)

〈資料2〉に基づいて報告。

【質問・意見】

○転園希望の中で、きょうだいが違う園に通っていて同じところに行きたいという希望は多いのではないかなと思うが、入所調整の点数の中で、きょうだいと同じ園に行くことに対する配慮はあるのか。

⇒転園に関してもきょうだい加点を付けて入所調整している。

○働いている方が違う園に送り届けることはとても負担が大きいので、点数が妥当であるか検討いただきたい。

⇒きょうだい加点については、見直しをした経緯もあるが、引き続き状況を見ながら妥当かどうか踏まえて今後注視していきたい。

○自宅から遠い保育園に通っている方もおられる。その方に近くの園に空きが出たら声をかけてあげられたらありがたい。検討いただきたい。

⇒聞いていただければ案内は可能である。また、ホームページに毎月施設の空き状況を掲載しており、窓口や電話で空き数を案内している。引き続き丁寧に対応していきたいと考えている。

(3) あそびでつながる『PLAYFUL PARK』(報告)

〈資料3〉に基づいて報告。

【質問・意見】

○特になし

	(4) 高の原幼稚園交流事業について 〈資料4〉に基づいて報告。 【質問・意見】 ○特になし (5) 令和6年4月1日木津川市組織改正について（こども関係） 〈資料5〉に基づいて説明。 【質問・意見】 ○特になし (6) その他 ・麻しんの国内外での増加に伴う注意喚起について 〈厚生労働省の通知〉に基づいて説明。 ・他市での給食での窒息事故について ・他市でのパワハラによる保育士多数退職について 〈報道記事〉に基づいて説明。 ・国の施策の動向について（こども大綱、誰でも通園制度等） 【質問・意見】 ○特になし
その他特記事項	特になし
署 名 欄	木津川市子ども・子育て会議 会長 安藤 和彦 木津川市子ども・子育て会議 委員 兎谷 知加子

